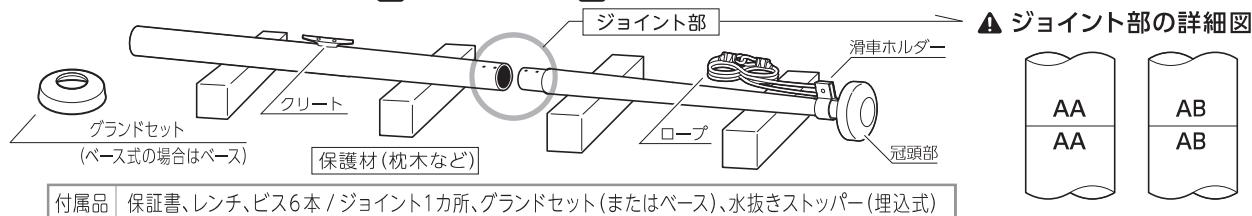


本書はロープ型ポールを基準に作られた組立方法および施工方法説明書です。他のタイプも同様に作業して下さい。
作業の前に必ずご一読ください。

1

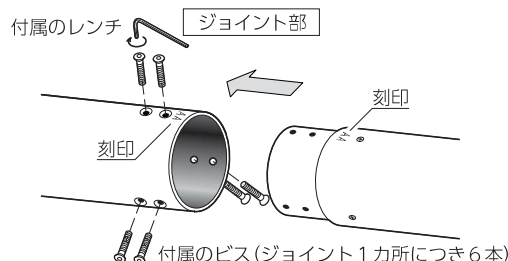
- 組立準備** ① 保護材(枕木など)を用意し、できるだけ水平な場所を選んで並べて、その上にポールを置きます。
※ 旗ポールは製品により、完成品(分割なし)、2分割、3分割の場合があります。(下図は2分割の場合)
② ロープを解きます。
※ 分割が無い場合は②の項目を飛ばして③に進みます。



ジョイント部は精度と強度を出すため、工場で仮組立てをしています。
組み付けの際は上図のように、必ず刻印(AA、ABなど)の記号の位置を合わせてください。

2

- 組立**
① ジョイント部の刻印(AA、ABなど)を合わせて接続し、ビスを強く締め付けます。ビスは必ず貼付されている箇所ものを使用してください。
⚠ 締め付けが不十分だとポールの揺れなどでビスが緩み、ジョイント部ガタツキの原因になります。

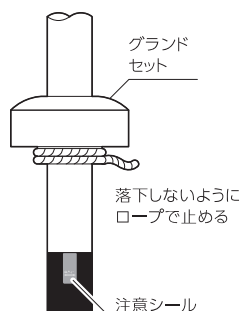


- ビスの青色部分(マイクロカプセル)には封入した接着剤が塗布されています。硬化時間(約10分程度)以内に締め付けてください。接着力が落ちますので、再度の締め直しはしないでください。
- 取り付け前にビスの青色部分が水に濡れると接着力が落ちる可能性があります。雨などにあたらないようにしてください。

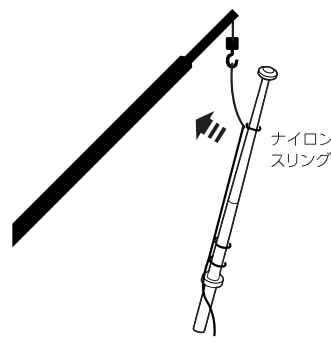
3

建柱

- ① 埋込式の場合はグランドセットをポールへ通し、建柱作業の邪魔にならないよう、ポールに仮止めしておきます。
[グランドセット下部のポールにロープ(グランドセットに付属)を巻いて対処します。]



- ② レッカー、クレーンなどで吊り上げ、建柱します。
⚠ 危険ですので、風の無い時に行ってください。
※ 建柱の際に埋込部の位置は(左図の)注意シールのGLラインに合わせてください。

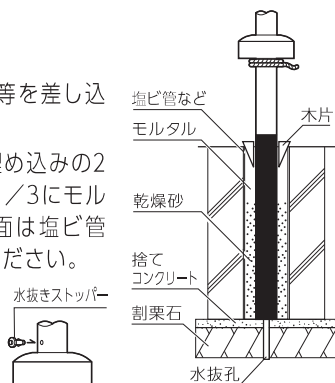


4

立てりを出す

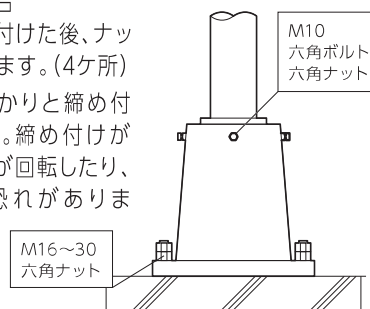
■ 埋込式の場合

- ① ポールと基礎との間に木片等を差し込んで立てりを出します。
② 位置を決めたら、乾燥砂を埋め込みの2/3くらいまで入れ、残りの1/3にモルタルを埋めます。基礎の天面は塩ビ管が見えないように仕上げてください。
③ 乾燥したら③で巻いたロープをほどいてグランドセットを降ろし、水抜きストッパーを穴に差し込みます。



■ ベース式の場合

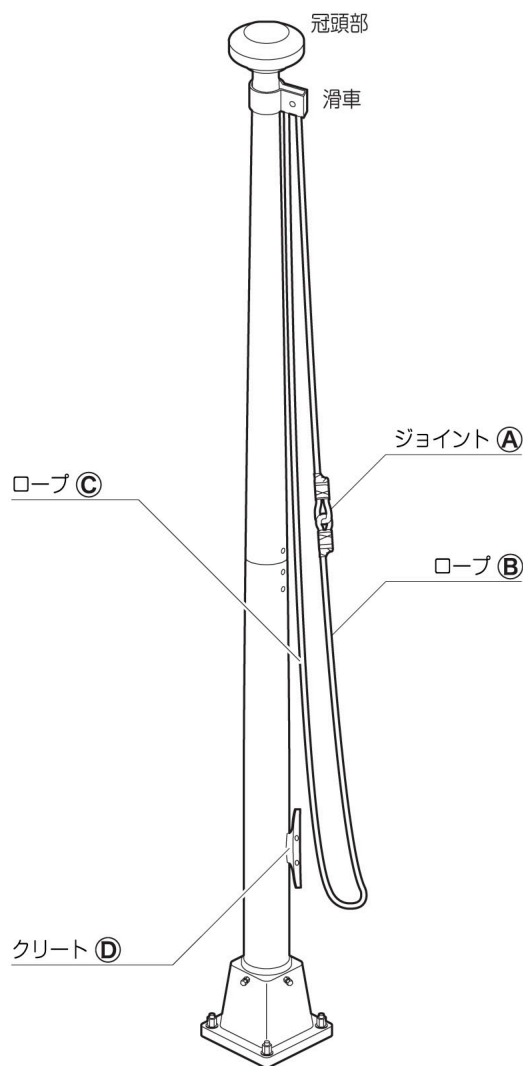
- ① ボルトを締め付けた後、ナットを締め付けます。(4ヶ所)
⚠ ボルトはしっかりと締め付けてください。締め付けが緩いとポールが回転したり、せり上がる恐れがあります。



モルタル(又はコンクリート)には、塩分を含む砂(海砂)及び塩素系強アルカリ系のコンクリート用混和剤(急結剤・凝固促進剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。

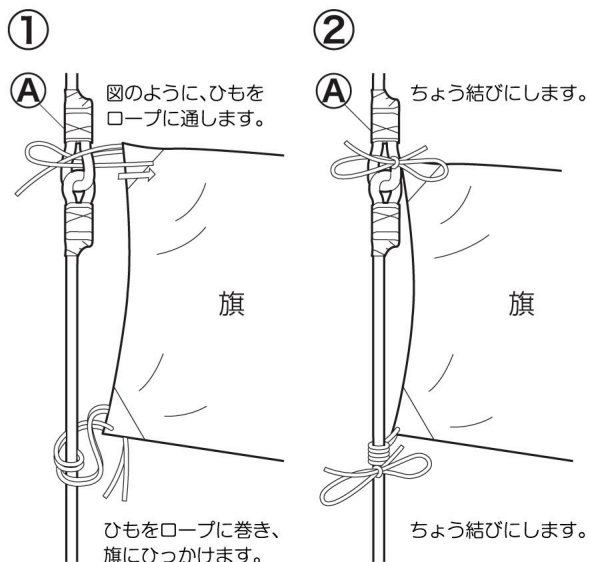
本書には、ロープ型ポール (FP) の旗の取付け方法および旗の上げ下ろしなどが記載されています。作業の前に必ずご一読ください。強風 (風速 15 m/秒以上) の時、または強風が予想される場合は旗の掲揚はしないでください。また、操作中は旗の位置・状態を十分に確認しながら行ってください。旗ポールを故意に揺さぶったり、よじ登ったり、昇降ロープにぶら下がったりすると、過大な力が加わりますので、絶対におやめください。

各部の名称



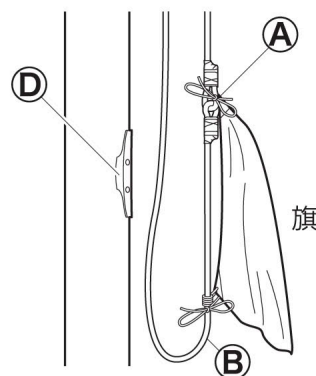
旗の取付け

- 旗の上側、下側をそれぞれ取り付けます。ごく普通の結び方でも大丈夫ですが、図のような結び方をおすすめします。他にもナスカンやフックなどが一般に市販されていますのでご利用ください。



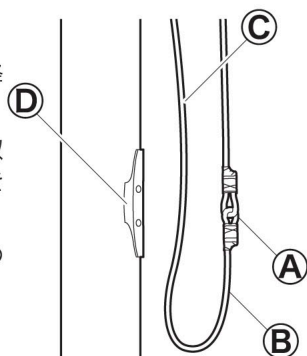
旗の下げ方

- ⑥を引き、④を手元まで降ろして旗をはずします。
- ※ 旗をはずした後、手元のロープは④に巻きつけておきます。



旗の上げ方

- ⑥を引き、④を手元まで降ろします。
- 旗の取付け の手順で旗を取り付けた後、③を引き、旗を上げます。
- 手元のロープは④に巻きつけておきます。



保守点検

- ※ ロープの打音消しについて
設置場所によって、風によるロープの打音が周囲に反響し、うるさい場合があります。このときは右図のようにロープをポールに巻きつけてください。
- ※ ロープの交換について
ロープの寿命は環境・使用状況により異なります。交換の方法については別途の「ロープ型FP」ロープ交換方法」をお読みください。

